




平成18年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績1

事業者	団体名	学び支援ネットinとっとり	代表者	西村 健二
	団体の主な活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員相互の情報交換</li> <li>・地域社会への貢献活動</li> </ul>		
事業内容	助成事業名	おもしろ体感ゾーン		
	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの理数離れ、学力低下を解消する。</li> <li>・子どもたちの健全な育成を図る。</li> <li>・子どもたちの国際理解を応援する</li> <li>・子どもたちの集中力を高め、自ら考える力を培う。</li> </ul>		
	事業の内容	<p>鳥取大学ものづくり教育実践センターや工学部物質工学科と共に、子ども達が楽しみ、学べる「おもしろ体感ゾーン」を実施した。</p> <p>おもしろ体感ゾーンな内容</p> <p>おもしろ実験コーナー (液体チツソを使った実験、卵を吸い込むピン、木炭電池、スーパーボール、キーホルダーづくり、白黒こま・ホログラムこま)</p> <p>おもしろふれあいコーナー (カードやゲームを使って英語を話す体験)</p> <p>おもしろ計算・図形コーナー (迷路、間違いさがし、高度な問題やパズルに挑戦)</p>		
				
	実施場所	鳥取市市民活動拠点 アクティブとっとり	実施日	平成18年9月24日
	対象者	小学生及び中学生	参加人数	265人
	事業実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが実験を通して自然の不思議、楽しさを体感できた。</li> <li>・ものづくりを通して自ら手作りするすばらしさを体感できた。</li> <li>・計算問題を考えることにより集中力の重要性、解いた時の喜びを感じることができた。</li> <li>・図形問題を解く過程で、試行錯誤することの有効性を理解し、イメージすることの必要性を認識できた。</li> <li>・英語を母国語とする外国人とのふれあいを通し、英語への関心を高めると共に、外国への興味を抱かせた。</li> </ul>		
	今後の活動の展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、子どもたちの学力、成長の促進につながるような、「教育ふれあいプラザ」(おもしろ体感ゾーン)を実施しつつ、中身をよりよいものに充実させたい。</li> <li>・新たな会員を募りつつ、活動の回数を増やしていきたい。</li> </ul>		
費用	総事業費	129,794円	助成金額	100,000円



平成18年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績2

事業者	団体名	少年問題を考える鳥取の会	代表者	立川 寿江
	団体の主な活動	・今村克彦講演会 ・今村組 & 鳥取の子どもたちジョイント演舞の実施		
事業内容	助成事業名	「いきていると嬉しいことがいっぱい」講演会		
	事業目的	子供たちに対して忘れかけている愛情を持った関わり方について学び、大人と子どもの溝を埋めることにつなげる。		
	講演会	講演会「いきていると嬉しいことがいっぱい」 (講師:山元加津子氏、養護学校教師として障害を持った子どもたちに対する深い愛情をもった関わり、又1人の母として3人の子どもたちとも深い絆で結ばれている体験、障害者によって私達が生かされている歴史的な話しなどを講演)		
				
	実施場所	鳥取県民文化会館 第1会議室	実施日	平成18年8月5日
	対象者	一般市民	参加人数	174人
	事業実施による効果	3人の子どもの母であり、日々障害をもった子どもたちと生活している山元氏の言葉は、一つひとつ私たちの心の中へ届きました。お話しの中では男女問わず、大人も子どもも本当に生きる事のすばらしさを学ばせていただきました。参加された方は心洗われたように、おだやかな顔でお帰りになりました。		
今後の活動の展望	今回の講演の内容を受け、障害のある人たちも一人ひとりすばらしい心があるということを再認識しました。いじめ、不登校、非行少年にどう接していくかなどの課題に際し、子どもたちの心に一步踏み込むという重要なことを実践したいと思います。			
費用	総事業費	183,147円	助成金額	100,000円


平成18年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績3

事業者	団体名	鳥取おやこ劇場	代表者	三木 文子
	団体の主な活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年5回の鑑賞例会(プロによる音楽、演劇、人形劇など生の舞台鑑賞)</li> <li>・キャンプ(夏・秋)</li> <li>・講演会、ワークショップなど</li> <li>・機関紙年5回発行</li> </ul>		
事業内容	助成事業名	子どもとメディア大作戦(子どもを取り巻くメディア環境を勉強する会)		
	事業目的	テレビ、ゲーム、インターネット携帯電話などが子どもに及ぼす影響や弊害について学習し、過度のメディア依存症にひそむ危険性を広く市民に啓発できる人材を育成する。		
	事業の内容	<p>第1回子どもとメディア勉強会 「テレビを消してみませんか」                      第2回子どもとメディア勉強会                      「ゲームをはじめとするおもちゃについて考えよう」                      第3回子どもとメディア勉強会                      「NTTドコモ 林浩樹講演会～携帯電話 光と影～」                      第4回子どもとメディア勉強会 「メディアリテラシー教育のすすめ」                      永野むつみ講演会 「言葉より語るもの」                      &amp; 「子どもとメディア大作戦」報告展</p>  <p>第3回子どもとメディア勉強会 「NTTドコモ 林浩樹講演会～携帯電話 光と影～」の様子</p>		
	実施場所	鳥取県民文化会館 リハーサル室他	実施日	平成18年6月15日 ～平成18年11月6日
	対象者	子育て中の保護者	参加人数	累計141人
	事業実施による効果	この半年の間にメディアに対する関心が高まってきたことを感じた。会員以外にも、乳幼児のお母さんたちが熱心に話を聞かれていた。		
	今後の活動の展望	<p>今度、1月に県教育委員会により開催される「鳥取発メディアとの接し方フォーラム」へ、インストラクターとして会員2名を派遣する予定。                      永野氏の講演会を聞き、幼い子供たちにとって芸術の力が不可欠であることを再認識したので、3月に3歳以下の子供向けに「ロバの音楽座」による”ぼろんぼろん”というコンサートを計画している。                      今後も、テレビやビデオではなく生の演奏や人形劇をより多くの子供たちに届けたいと思っている。</p>		
	費用	総事業費	134,607円	助成金額

平成18年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績4

事業者	団体名	鳥取県更生 保護女性連盟	代表者	倉光 玲子
	団体の主な活動	犯罪・非行予防活動。罪を犯した人々への立ち直り支援活動。子育て支援活動。青少年健全育成支援活動。		
事業内容	助成事業名	鳥取県更生保護女性会員研修 講演会		
	事業目的	家庭や地域社会で活動している会員や市民が辛いときも明るく振舞い、活動を続ける一助となるよう、「メイクと心と体の連鎖」について学ぶ講演会と、パネル展示による県内の更生保護女性会の活動の紹介を行なう。		
	事業の内容	講演会 演題「メイクと心もよう」 講師 かづきれいこ氏 デモンストレーション 講義に基づくメイクの実演  パネル展示(県下12地区会、独自の活動をパネル展示により紹介)		
	実施場所	鳥取県民文化会館 小ホール	実施日	平成18年11月8日
	対象者	更生保護女性会員を 中心にした一般市民	参加人数	520人
	事業実施による効果	<p>独自の事業をすることで、企画運営の技術が向上した。 講演を聞き、ボランティア団体会員として楽しみながら活動を継続していく活力を得ることができた。 パネル展示をすることで、それぞれの地区会活動を見直し、効果的な広報の方法を習得することができた。 更生保護女性会の活動を一般市民にPRすることができた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
	今後の活動の展望	更正保護に軸足を置きながら活動するボランティア団体として、地域の他団体と連携しながら、子育て支援、犯罪予防など地域に根ざした活動を展開する。		
費用	総事業費	1,264,740円	助成金額	100,000円

平成18年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績5

事業者	団体名	喘息患者会「いなば会」	代表者	生田 誠一
	団体の主な活動	喘息発作の予防、治療、及び患者の生活向上のため、講演会、学習会、レクリエーション交流会、相談対応などを行う		
事業内容	助成事業名	第14回喘息デー「喘息治療講演会」		
	事業目的	喘息に対する正しい知識を普及し、喘息患者の喘息死を予防し、患者の生活の質を向上させる。		
	事業の内容	喘息治療講演会 「日本喘息患者会連絡会」顧問の清水医師を招き、吸引ステロイド薬など薬に対する情報や、腹式呼吸や早朝散歩等を使った自己治療力を高める方法について講演した。 質疑応答 電話、メールによる質疑応答。		
	実施場所	県民文化会館	実施日	平成18年9月30日
	対象者	県内外の気管支の喘息患者、及びその家族	参加人数	78人
	事業実施による効果	特に高齢者に高い喘息死の予防が大切であるが、講演会を通じ、ステロイド吸入薬の普及が徐々にではあるが進んでいる。 		
	今後の活動の展望	「喘息は治る時代」である。正しい薬物治療と自然治癒力の向上で、症状を克服することを広く呼びかけたい。		
費用	総事業費	124,747円	助成金額	99,000円

平成18年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績6

事業者	団体名	山本徳次郎翁顕彰の会	代表者	川上 博
	団体の主な活動	鳥取県の無形民俗文化財「因幡の傘踊り」の創始者、山本徳次郎翁の功績と遺徳を偲ぶとともに、「因幡の傘踊り」を広くPRし、また後継者を育成するため、以下の活動を行なう。 ・山本徳次郎翁を偲ぶ会 ・傘踊り講習会、継承会 ・清掃、美化活動 など		
事業内容	助成事業名	山本徳次郎翁を偲ぶ会		
	事業目的	「因幡の傘踊り」の継承と交流活動を通じて、地域の誇りと宝である子どもたちの郷土への愛着心を育む。		
	事業の内容	[傘踊り講習会] 保育園児、小学校児童及び中学生生徒を対象に、技術上達と後継者育成を目的にした「因幡の傘踊り」の講習を実施。 [山本徳次郎翁を偲ぶ会] 因幡の傘踊り、手笠踊り、銭太鼓など地域伝統芸能の披露競演を行なう。また、紙芝居等により山本徳次郎翁の紹介する。 [清掃活動] 山本徳次郎顕彰碑付近の美化・清掃		
	実施場所	谷地区公民館 など	実施日	平成18年6月～11月 (月2回実施)
	対象者	保育園児、小学校児童及び中学生生徒及び一般市民	参加人数	延べ400人
	事業実施による効果	「因幡の傘踊り」の継承と、地域の文化遺産のすばらしさをあらためて認識し、地域の誇りとして自信を深めることができた。また、様々な文化芸能の競演により、地域住民をはじめ大人と子どもの世代間の一層の交流を図ることができた。さらに、イベントの実施や紹介冊子を配布することにより、傘踊りを内外に広くPRする事ができた。		
	今後の活動の展望	偲ぶ会実施にあたっては、地域外の手他団体の参加を促進し、広域的な普及に努める。		
費用	総事業費	154,108円	助成金額	100,000円



平成18年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績7

事業者	団体名	青少年育成 中ノ郷地区会議	代表者	福本 幹久
	団体の主な活動	次代を担う青少年の健全なる育成を図ることを目的に、以下の活動を行なう。 ・さわやかラジオ体操の集い ・夏休み愛の巡回活動の実施 ・老人福祉施設訪問(獅子舞披露) ・安全マップの作成、配布 など		
事業内容	助成事業名	ふるさとの魅力を見つけよう		
	事業目的	郷土に伝わる芸術、産業、行事、史跡、自然など当地域に伝え残されている魅力を探し、伝統文化を発見・普及する活動を通して、郷土を愛し、郷土に誇りをもつ青少年の育成を図る。		
	事業の内容	郷土料理体験教室の開催 クッキングアドバイザー竹中真理子氏が指導し、7月17日、12月10日、1月5日の3回開催。 作文・絵画・写真の募集 「ふるさとの魅力」に関する作文、絵画、写真を地元の小中学校や住民から募集し、審査を行う。入賞作品の発表、展示会を開催し、入賞者を表彰する。 郷土料理体験教室の様子や入賞作品を掲載した記録集を作成し、関係者に配布する。		
	実施場所	中ノ郷地区公民館 中ノ郷小学校体育館	実施日	平成18年6月 ～平成19年1月
	対象者	地域の小学校児童、 中学校生徒及び住民	参加人数	料理教室 延べ90人 作文に146人が応募 絵画に143人が応募 写真に11人が応募 発表・展示会 約300人
	事業実施による効果	地域に埋もれている文化を発掘し、再発見することにより、この地域に生きる喜びや誇りを持ち、郷土を愛する心情や連帯意識を醸成することができた。また、地域で採れる食材を使った郷土料理の体験は、地産地消の意義を理解するとともに、地域に伝承されている食文化や行事を大切に保存、継承しようとする意識を育てるとともに、広くPRすることができた。		
	今後の活動の展望	おふくろの味、ふるさとの味、伝統の味を地域に広げることができる。 郷土料理づくりをとおして、住民相互のふれあいが深まり、潤いのある地域づくりへの素地ができた。 ふるさとの魅力探しをとおして、郷土の誇りを自覚し、郷土を愛する心情を育むきっかけができた。		
費用	総事業費	181,060円	助成金額	100,000円



平成18年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績8

事業者	団体名	鳥取民藝美術館友の会	代表者	吉田 章二
	団体の主な活動	鳥取の地域文化向上に努めた吉田璋也の業績を伝え、鳥取の豊かな文化性を発展させていくため、美術館や窯元の見学会や民藝に関する講演会を行う。		
事業内容	助成事業名	鳥取民藝美術館友の会設立5周年記念講演会 「古伊万里染付 江戸の粋」		
	事業目的	江戸文化における伊万里焼の果たした役割を紹介し、ものづくりがいかに庶民に支えられ、工夫がなされて発展したかを鳥取市民に広く学んでいただく。		
	講演会	<p>講師に中島由美氏(元日本陶磁協会「陶説」編集者、陶磁器研究家)を招き、鳥取民藝美術館所蔵の古伊万里染付磁器を展示して講演会を行った。その後、実際に参加者に古伊万里染付磁器を触っていただき、紋様や形、用い方について質疑応答を行ったり、鳥取の焼物や日常生活の中での器について歓談した。</p> 		
	実施場所	梅鯉庵	実施日	平成18年11月23日
	対象者	一般市民	参加人数	46人
	事業実施による効果	解放感のある会場で、初対面の方々がひざを合わせ、「焼物」という話題で和やかに談笑されたことは、最も望んでいた成果であった。		
	今後の活動の展望	今回は「まちづくりにどう絡んでいくのか、という視点を深める」という市民活動委員会からの意見を活かす事ができなかったため、今後は鳥取の工藝文化が広く市民に浸透していく一助となるような企画を考えていきたい。また、講演会は来年も継続して行うので、鳥取市の施設をよい形で使っていきたい。		
	費用	総事業費	85,372円	助成金額



平成18年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績9

事業者	団体名	城北ファミリーバンド	代表者	岡本 潤子
	団体の主な活動	音楽を通じて、演奏技術の向上と会員の親睦を図るとともに、地域の音楽文化の充実・向上に貢献することを目的に、城北文化祭などで演奏を行う。		
事業内容	助成事業名	吹奏楽演奏活動		
	事業目的	会員が音楽を楽しむとともに、地域活動の活性化に貢献し、幅広い年代層の方に対し、音楽の楽しさを感じてもらう。		
	事業の内容	<p>演奏発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・城北文化祭ステージ演奏(10月)</li> <li>・城北ふれあいデイサービス ミニコンサート(2月)</li> </ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏技術の向上を図るため、週1回の定例練習会を行う</li> <li>・演奏発表会のステージ演出の企画</li> <li>・広報活動</li> </ul>		
	実施場所	城北地区	実施日	平成18年4月1日～ 平成19年3月17日
	対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城北小学校区住民を中心とした一般市民(城北文化祭ステージ演奏)</li> <li>・城北地区の65歳以上の方(城北ふれあいデイサービス)</li> </ul>	参加人数	城北文化祭ステージ演奏のべ100人 城北ふれあいデイサービス 60人
	事業実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を中心とした大勢の方に聴いていただき、音楽を通して1つになれたと思う</li> <li>・当団体の演奏を見たことをきっかけに吹奏楽部に入部した中学生も加わり、3世代参加型の演奏会ができた</li> <li>・手作りの打楽器を使って参加者にも演奏に参加していただき、皆で奏でることの楽しさを感じてもらった。</li> </ul>		
	今後の活動の展望	<p>城北小学校の先生より「子ども達に聴かせたい」と、コンサートの依頼を受けた。その他、以下の演奏会を行うことを目指している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・城北文化祭ステージ発表</li> <li>・城北ふれあいデイサービス ミニコンサート</li> <li>・城北小学校ミニコンサート</li> <li>・城北公民館クリスマスコンサート</li> </ul>		
費用	総事業費	567,264円	助成金額	100,000円



平成18年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績10

事業者	団体名	パト・ライト・じょうほく	代表者	荒木 浩司
	団体の主な活動	城北小学校区の防犯パトロールなどの防犯活動をととして、城北小学校区の子ども、住民の安全と安心を確保するとともに、住民の防犯意識を促すことを目的とする。		
事業内容	助成事業名	城北小学校区防犯活動		
	事業目的	地域が安全になるとともに、地域住民の自主防犯意識の高揚や、地域の中での子どもと大人、地域住民同士のパートナーシップ(信頼関係)の構築を図る。		
	事業の内容	<p>NPO法人CAPによる講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども対象(小学1年生) 内容:身の守り方、自己表現、心のケア、ロールプレイ</li> <li>・大人対象 内容:子どもへの接し方、心のケア、ロールプレイ</li> </ul> <p>合同パトロール 城北小学校区(城北、千代水地区)の町内会、各種団体に参加していただき、子どもの下校時間に合わせて一緒に下校する。(7回実施) 同時に地域住民に防犯啓発を行う。</p>		
				
	実施場所	城北小学校区全域	実施日	平成18年6月13日～平成19年3月10日
	対象者	各町内会、各種団体員、地域住民、小学生	参加人数	講演会 140名 合同パトロール 250人(累計)
	事業実施による効果	自主防犯意識が高まり、様々な安全活動に積極的に取り組んでいる。子どものいない地域の方にも関心が徐々に高まり、あいさつや会話ができるようになった。 今後さらに、共助の意識を高め、地域住民同士や子どもと大人のパートナーシップ(信頼関係)が構築されると思う。		
今後の活動の展望	参加した子ども、先生、地域の方の感想からもあるように、継続的に講演会を開いていきたい。 また、合同パトロールは、参加者の負担感なく気軽に、もっとたくさんの方に参加していただける体制を作りたい。			
費用	総事業費	189,420円	助成金額	120,000円

平成18年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績11

事業者	団体名	特定非営利活動法人 とっとりフィルムコミッション	代表者	清水 増夫
	団体の主な活動	映画、テレビドラマ等の誘致、支援及び自主上映事業を行ない、観光振興、経済効果及び文化振興を図り、地域の活性化に寄与する。		
事業内容	助成事業名	高齢者映画出前上映サービス事業		
	事業目的	映画館に行けない高齢者の方々に、昔懐かしい映画を出前上映し、鑑賞後、当時の思い出話などを語り、交流を図る。		
	事業の内容	映画出前上映サービスの案内を鳥取市内の福祉施設へ配布し、上映の希望があった特別養護老人ホームなど3ヶ所で、昭和13年製作の映画「愛染かつら」を上映した。		
	実施場所	(1) 特別養護老人ホーム 「高草あすなる」 (2) 用瀬地区保健センター (3) 佐治町老人福祉センター	実施日	(1) 平成18年12月5日 (2) 平成18年12月8日 (3) 平成19年2月18日
	対象者	高齢者	参加人数	129人(累計)
	事業実施による効果	<p>映画鑑賞前と比べ、鑑賞後の高齢者の顔は生き生きとしていて、話しても活力があった。懐かしくて涙を流している人もいた。ほとんどの高齢者は「とてもよかった。昔を思い出した」と言われ、さらなる生きる活力につながっていくことになると思う。</p> 		
	今後の活動の展望	各方面から要望があれば、実費を負担していただき、出前上映会を行う。		
費用	総事業費	123,827円	助成金額	99,000円

平成18年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績12

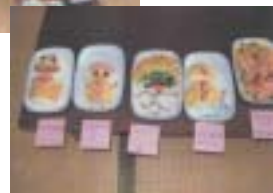
事業者	団体名	里山づくりを推進する会	代表者	山根 信一
	団体の主な活動	農業などの生産者と消費者の交流を通して鄙の再発見をすることを目的に、逢坂産こしひかりの試食会を行う。		
事業内容	助成事業名	里山づくり活性化推進塾		
	事業目的	当地区の里山の原風景・地産地産等を継承するため、住民活動によるイベントや研修会を開催し、里山の人と自然の関わりの大切さを学ぶ。その成果を情報発信する。		
	事業の内容	主なイベント 10月9日 うぐい突き・地産料理とおにぎりの試食 12月1日 地産地産料理講習会 12月9日 おにぎりコンテスト 3月11日 里山を考える会 3月26日 逢坂小学校校庭に巣箱設置		
	実施場所	逢坂地区公民館 他	実施日	平成18年8月 ～平成19年3月
	対象者	地区住民、地区外希望者	参加人数	延べ369人
	事業実施による効果	「うぐい突き・地産料理とおにぎりの試食」では、213人が参加し、逢坂の里山の豊富な農作物を地区内外にアピールできた。 「おにぎりコンテスト」では参加した小学生がアイデアいっぱいの楽しい作品を作り、食育に対する興味を持たせることに功を奏した。 「里山を考える会」では小学生から大人まで67名が参加し、今後の逢坂の里山を生かした事業について、建設的な意見が聞かれた。 この事業を開催したことにより、地域の方々に逢坂の里山の再認識と、この会の活動を理解していただき賛同が得られたように感じた。		
	今後の活動の展望	各種団体の協力のもと、企画立案し、里山のすばらしさを様々な価値観をもつ人々と共生・共存し、里山の保全に取り組む体制を整えたい。		
費用	総事業費	163,600円	助成金額	100,000円



うぐい突き



里山を考える会



おにぎりコンテスト

平成18年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績13

事業者	団体名	特定非営利活動法人 ラーバンマネジメント	代表者	加嶋 襄
	団体の主な活動	市民によるまちづくりの担い手として活動し、公益の増進・福祉に寄与することを目的として、ラーバンだよりの発行、まちづくりに関する意識調査などを行なう。		
事業内容	助成事業名	「ラーバンだより」発行事業		
	事業目的	まちづくりに取り組むグループとその課題を取り上げる情報誌「ラーバンだより」の発行。		
	事業の内容	<p>遷喬地区、日進地区、明德地区の3地区を対象に各地区で特徴のある話題を取り上げ、座談会形式で放談会を行い、この様子を「ラーバンだより」に掲載する。</p> <p>今年度は日進地区の鳥取本通商店街振興組合の方々に座談会を行い、商店街の様子を「ラーバンだより」にまとめた。発行した「ラーバンだより」は主に対象の3地区各戸に配布した。</p>		
	実施場所	遷喬地区、日進地区、 明德地区	実施日	平成18年6月 ～平成19年3月
	対象者	遷喬地区、日進地区、 明德地区の住民	参加人数	3419人 (「ラーバンだより」を 配布した戸数)
	事業実施による効果	<p>各地区の「まちづくり」に関する活動の様子を「ラーバンだより」で住民に知らせていくことで、中心市街地の中の商店を再認識してもらうことができた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">座談会の様子</p>		
	今後の活動の展望	各地区のまちの歴史などに関することを話題に座談会等を行い、町の交流状況をつぶさに把握しながら、住民を中心に「たより」で情報伝達して「まちづくり」の情報を共有する事で、まちづくりの意識高揚を図り、住民参画の意識を高めていく。		
費用	総事業費	182,342円	助成金額	145,000円

平成18年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績14

<b>事業者</b>	<b>団体名</b>	ボランティア湖山	<b>代表者</b>	進賀 正幸
	<b>団体の主な活動</b>	青島公園の竹林の間伐と周辺の環境整備		
<b>事業内容</b>	<b>助成事業名</b>	青島竹林整備事業		
	<b>事業目的</b>	青島公園を市民の憩いの場所にするために、竹林周辺の雑木、笹藪も含めて整備する。		
	<b>事業の内容</b>	竹の伐採 竹と竹の間隔を約1.4メートル(番傘を差しても通れる間隔を)とって伐採し、風通しや日差しのよい、竹林にとってよい環境をつくる。また、竹林周辺の雑木、笹藪等もすっきりと切り払い、遊歩道から竹林内が見通せるようにする。伐採した竹は2メートル程度に切り、竹林内に積み上げる。		
	<b>実施場所</b>	鳥取市高住 青島公園	<b>実施日</b>	平成18年4月～12月 (月2回実施)
	<b>対象者</b>	地区住民を中心 にした一般市民	<b>参加人数</b>	12人
	<b>事業実施による効果</b>	<p>青島公園に来られる方々の声  「朝、夕に青島公園を散策するが、遊歩道沿いに200メートルが明るくなり、とても気持ちがいい。」  「以前は雑木と竹林で薄暗い場所であったが、今はすっきりと竹林が整備され、公園らしくなり、散策するのが楽しくなった。」  (写真:事業実施の様子と、実施後の様子)</p> 		
	<b>今後の活動の展望</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹林の切株等、足元に当たる部分を整備して、多くの方に竹林内を散策していただけるようにする。</li> <li>・遊歩道からすっきりと湖山池が見えるようにするため、19年度には急斜面の孟宗竹林の間伐を計画している。これらの整備が完了すれば、竹林内から湖山池や対岸を臨む、青島公園の憩いの場所となる。</li> </ul>		
<b>費用</b>	<b>総事業費</b>	128,799円	<b>助成金額</b>	100,000円